

キャリアアップガイド〔保健師職〕

職 種	保健師
職務内容	<p>○地域保健対策に関する職務</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 結核等感染症対策 2 難病対策 3 母子保健対策 4 虐待予防対策 5 生活習慣病予防対策 6 精神保健福祉対策 7 自殺予防対策 8 災害を含めた健康危機管理への対応 9 地域の健康課題の分析と保健事業の評価 10 地域及び職域の健康づくり対策 11 保健師の人材育成
主な配属先	<p>○本庁</p> <p>○保健所、保健分室</p> <p>○精神保健福祉センター ○児童相談センター</p> <p>○あいち小児保健医療総合センター ○医療療育総合センター</p>
め ざ す 職 員 像	<p>行政保健師として高い専門能力と行政能力を持ち、地域の健康課題解決に向けて、関係機関と協働して行動することができる職員であり、公衆衛生の視点で地域を総合的に捉え、実践できる保健師</p>

＜育成の考え方＞

- ・ 保健所を始めとする地方機関での実務経験を通して、保健師職として必要な専門能力を高めるとともに行政能力の向上を図る。
- ・ 職員の適性に留意しながら、地方機関と本庁とのローテーションにより専門知識・技術及び企画・調整・指導力を備えた技術者の育成を図る。
- ・ 地域保健活動に関する知識・技術の習得、関係法令等を学ぶため、県集合研修であるキャリアレベル別研修及び業務別研修の受講機会を確保する。
- ・ 職員の適性等に留意し、「愛知県・市町村技術職員実務研修交流事業」により市町村の保健衛生部門の役割と機能を学ぶ。

＜主な職務内容別の方針＞

〔地域保健対策に関する職務〕

- ・ 保健所と本庁を経験させ、実践活動を重ね、地域保健に関する専門能力と行政能力を高め、地域の健康課題に対応できる職員の育成を図る。

〔地域の精神保健福祉対策への助言・指導業務〕

- ・ 精神保健福祉センター等での業務を経験させ、精神保健福祉対策の課題の分析と事業化及び評価をすることで、地域精神保健福祉分野の高度な能力を持った職員の育成を図る。

〔地域の母子保健対策への助言・指導業務〕

- ・ あいち小児保健医療総合センター保健室等での業務を経験させ、長期療養児支援や児童虐待対応等に従事することで、地域母子保健分野の高度な能力を持った職員の育成を図る。

めざす職員像*

- ①自律的、スピーディーかつスマートに行動する職員 ②行政のプロ意識と高い専門性能力を持って行動する職員
- ③サステナブルな県庁を目指し、組織一体となって、いきいきと活躍する職員
- 愛知県保健師のめざす姿
- 「公衆衛生の視点で地域を総合的に捉え、自分で考え実践できる保健師」

※愛知県人材育成基本方針2020年12月

マネジメント志向						管理職補佐、管理職、統括保健師			
スペシャリスト志向						現場で熟達したスペシャリスト			
職位	技師・主任		主査		課長補佐	課長補佐(班長) 課長 担当課長 ...			
専門的能力に係るキャリアレベル	A-1	A-2	A-3	A-4	A-5				
管理職保健師に求められる能力に係るキャリアレベル			B-1	B-2	B-3	B-4			
必要とされる知識・能力 (出典：県保健師のキャリアラダー)	<div>STEP UP</div> <p>経験年数に関わらず、能力を獲得したら次のステップに進む。</p>					・所属課の保健事業全般に関して指導的役割を担う。 ・自組織を超えた関係者との連携・調整を行う。 ・組織の健康施策に係る事業全般を理解し、その効果的な実施に対して責任を持つ。 ・組織横断的な連携を図りながら、複雑かつ緊急性の高い地域の健康課題に対して迅速に対応する。 ・健康課題解決のための施策を提案する。			
	(A-1)		(A-2)		(A-3)	(A-4)			
	(A-1)		(A-2)		(A-3)	(A-4)			
	(A-1)		(A-2)		(A-3)	(A-4)			
	(A-1)		(A-2)		(A-3)				
・計画された担当業務を自立して実施する。 ・トレーナーとして後輩の指導を担う。 ・グループの保健事業に係る業務全般を理解し、地域支援活動に係る担当業務に責任を持つ。 ・複雑な事例への対応を必要に応じて指導を受けて実施する。 ・担当地域の健康課題の優先度を判断し、地域の人々の主体性を尊重した解決策を立案する。									
・愛知県の新任者であり行政組織人及び保健師専門職としての自覚を持つ。 ・担当業務を的確に把握・理解し、個別事例に対して責任を持つ。 ・基本的事例への対応を主体的に行う。 ・地域活動を通して地域特性や地域資源を把握し、地域の人々の健康課題を明らかにする。									
・保健活動に係る担当業務全般について自立して行う。 ・役割や立場の違いを理解し、つなぎ役としての組織的な役割を担う。 ・自組織を超えたプロジェクトに参画する。 ・グループの保健事業と施策との関係性を理解し、主担当として担当業務に責任を持つ。 ・複雑な事例に対して自立して対応する。 ・健康課題を明確にし、グループ内で共有し、地域の人々と協働して事業計画を提案する。									
・グループ内でリーダーシップをとって保健活動を推進する。 ・キャリアレベルA-5の保健師を補佐する。 ・関係機関との信頼関係を築き協働する。 ・自組織を超えたプロジェクトで主体的に発言する。 ・課の保健事業に係る業務全般を理解し、その効果的な実施に対して責任を持つ。 ・複雑な事例に対して、担当保健師等にスーパーバイズすることができる。 ・地域の潜在的な健康課題を明確にし、施策に応じた事業化を行う。									
・所属課の保健事業全般に関して指導的役割を担う。 ・自組織を超えた関係者との連携・調整を行う。 ・組織の健康施策に係る事業全般を理解し、その効果的な実施に対して責任を持つ。 ・組織横断的な連携を図りながら、複雑かつ緊急性の高い地域の健康課題に対して迅速に対応する。 ・健康課題解決のための施策を提案する。									
管理職保健師に求められる能力	1 政策策定と評価 ・国の動向や自組織の方針を理解し、担当部署に係る活動方針のビジョンを示し、必要に応じた見直しを行う能力 ・自治体を代表して外部機関との調整や交渉を行う能力 2 危機管理 ・危機等の発生時に組織の管理者として迅速な判断を行い組織内外の調整を行う能力 ・危機を回避するための予防的措置が行われるよう管理する能力 3 人事管理 ・担当部署内の全職員の能力・特性を把握し、資質向上の仕組みづくりと必要に応じた見直しを行う能力 ・組織目標・計画を踏まえて保健師採用計画・配置基準・人事異動を提案する能力								
異動・配属の考え方	基礎的な技術・知識の取得や適切な指導を受けることに適した所属に配属する。	基礎的な技術・知識を習得するとともに適性を見出すため、以下の内容を経験できるよう計画的に異動を行う。①2か所の保健所を経験する。可能な限り、健康推進課・地域保健グループとこころの健康推進グループを経験する。②可能な限り、本庁又は地域保健部門以外の所属(健康福祉部門、他部署)を経験する。	職務分野の偏りが無いように幅広い職務経験を積み重ね、適性を見出すとともに、実務の中心的役割を担う職員を目指す。	課題を設定し自ら取り組むことにより、行政保健師としての能力・資質に磨きをかけ、後輩の指導・育成とともに、実務の中心的役割を担う職員をめざす。	行政保健師として高い専門能力と行政能力を持ち、地域の健康課題解決に向けて関係機関と協働して行動することができる職員。	グループ班長として、専門分野のリーダーとしての役割を担い、担当業務を推進するとともに、人材育成など組織マネジメントを行う。	担当課長、次長、課長、室長等管理職として、専門分野のリーダー及び、組織のリーダーとしての役割を担い、業務を推進すると共に、次期管理職リーダーを育成する。		
主な業務経験 (ジョブローテーション)	地域保健	本庁、地域保健、精神保健、母子保健	本庁、各分野の専門能力(地域保健、精神保健、母子保健)、保健師の人材育成			各組織の管理職			
	【地方機関】 保健所健康支援課(地域保健グループ)	【本庁】 本庁各課 【地方機関】 保健所健康支援課(地域保健グループ) (こころの健康推進グループ) ・保健所生活環境安全課 ・精神保健福祉センター等 ・児童相談センター、 あいち小児センター	【本庁】 本庁各課 【地方機関】 保健所健康支援課(地域保健グループ、こころの健康推進グループ) ・保健所総務企画課(企画調整) ・保健所生活環境安全課 ・精神保健福祉センター等 ・児童相談センター、 あいち小児センター	・本庁課長補佐 ・各保健所課長補佐 ・精神保健福祉センター等課長補佐 ・児童相談センター課長補佐 ・あいち小児センター室長補佐		・本庁担当課長 ・各保健所次長及び課長 ・精神保健福祉センター等課長 ・児童相談センター課長			
職場内研修(OJT)	指導者から指導を受ける	指導者として指導を行う	指導者を支援する	熟達した知識や技術の後輩保健師へ指導					
	各種計画への参画、各種計画策定、ワーキングへの参画					事例検討			
職場外研修(off-JT)	キャリアアップ研修 キャリアアップ研修 キャリアアップ研修 キャリアアップ研修 研修(母子保健) 研修(健康づくり) 研修(業務別)	★新任保健師等保健指導研修(A-1) ★新任保健師等保健指導研修(A-2) ★公衆衛生看護指導者研修/A-3又はA-3の獲得をめざす者 ★地域保健活動推進技術研修/A-3又はA-4の者 保健所保健師母子保健実務研修/A-2又はA-2の獲得をめざす者(あいち小児センター) ★健康づくり指導者セミナー(行医コース)/A-3の獲得をめざす者(あいち健康プラザ) 業務別研修(精神保健福祉、難病、結核・感染症、老人保健福祉、母子保健、児童福祉、健康づくり、災害、その他業務)	保健師管理者研修(管理期・統括)/A-4以上かつB-2以上の者・統括			記載内容：研修名／研修対象（研修場所） 研修場所は場所指定研修のみ記載 ★ 必須研修 ★ 科学院：国立保健医療科学院			
	派遣研修(実習指導者) 派遣研修(公衆衛生看護) 派遣研修(公衆衛生看護) 派遣研修(公衆衛生看護) 派遣研修(母子保健) 派遣研修(健康づくり) 派遣研修(難病) 派遣研修(結核)	臨地実習指導者講習会(公衆衛生看護)/A-3又はA-3の獲得をめざす者(看護研修センター) 公衆衛生看護研修(中堅期)/A-4の獲得をめざす者(科学院) 公衆衛生看護研修(管理期)/A-4以上かつB-2以上の者・統括(科学院)	児童虐待防止研修/A-3程度(科学院) たばこ対策の施策推進における企画・調整のための研修/A-3程度(科学院) 難病患者支援従事者研修/A-3程度(科学院) 保健師対策・推進コース等/A-3程度(結核研究所)						
(保健所実施)	新任保健師等保健指導研修 地域保健関係者人材育成研修								
	人事交流	愛知県・市町村保健師実務研修交流事業							
自己啓発	管内保健師や他の所属保健師との交流、多様な価値観の保健師や他職種との交流(市町村保健師協議会、愛知県保健師会、看護協会等への所属)	(全国保健師長会への所属)							
	学会や各種勉強会(任意)への参加	学会へ参加し活動発表・報告			学会への発表への助言(先輩へ自己啓発の機会を与える)				
果職位	技師・主任		主査		課長補佐	課長補佐(班長) 課長 担当課長 ...			
専門的能力に係るキャリアレベル	A-1	A-2	A-3(一人前保健師)	A-4	A-5				
管理職保健師に求められる能力に係るキャリアレベル			B-1	B-2	B-3	B-4			